

議題 防犯カメラの設置について

<安心安全な街づくりのための提言>

自治会では、防災や防犯に積極的に取り組んでおりますが、この度防犯カメラを設置することについて臨時総会を開催。

趣旨

昨今山王地域では、侵入窃盗や引ったくりが多発しております。その数は大森警察署管内において最も顕著です。これは大規模の住宅地が密集している上に見通しの悪い路地が続いていることも要因です。

防犯・防災についてもその基本は、各家庭の日々の備えと地域のきずなです。地域のきずなとは「隣はなにをする人ぞ」と無関心のご近所関係を少しでも改善していくことであり、これが自助共助の原則です。

また自治会や警察でもパトロール活動や各種呼びかけを行っていますが、いずれも限度があり犯罪発生件数はここ数年増加の一途です。そこで、この度東京都ならびに大田区からの助成金を活用して自治会内に防犯カメラの設置を行うことと致しました。

防犯カメラ設置の目的は、迅速な犯罪捜査解決への協力と犯罪の抑止です。しかしながら、公共の場を常時監視記録する装置のために、皆様の日常生活におけるプライバシーに関わることとなるため慎重を期してこの度の総会にてご承認をいただくこととしました。趣旨をご理解の上、ご理解をお願いします。

防犯カメラの設置の運営の概要

1. 4台の録画機能つき独立型のカメラを設置し、同所へ常時作動中である表示を行う。
2. 録画した画像は、事件発生時のみ「当局」だけが確認する。
3. 防犯カメラ管理規程を定めてその運用を厳粛行う。映像は非公開とする。
4. カメラは、あらかじめ公共道路に限定してその位置を定め、特定の個人や家屋には向けない。

総会日時 平成22年9月11日(土)午後1時30分
会 場 薬師堂



総会付題 高齢者見守り事業について(臨時総会におけるその他の報告について)

自治会では高齢者や障害者への福祉の一環として、とりわけ「老人の孤独死を無くそう」ということから福利厚生委員会を中心に重点的に取り組んできました。防犯防災と同じく、ここでも自助共助の精神が求められます。例えどんなに整った設備や制度があっても、もっとも重要なのはご近所のお付き合いです。

この見守り事業に賛同する皆さんの思いやりを期待して、新たに構築する制度について途中報告をいたします。

1. 今年度事業は助成金期限との関係から、独居老人等の緊急事態の対応するものとする。
2. 内容は近隣地域での見守り体制を整備することで、とりわけ速やかな連絡通信方法を検討しています。また要援護者の救出や医療行為は専門担当部署となります。